

千葉県知事 熊谷 俊人 様

令和5年6月21日
日本生命保険相互会社
千葉支社長
星 忠利

2022年度活動状況報告書

2022年度の当社取組につきまして、以下の通りご報告いたします。

1. 高齢者の見守り

千葉県内2支社管内（千葉支社・船橋支社）の33拠点、約1200名の営業職員が、日々の営業活動・ご契約内容確認活動等で高齢者と接する際、積極的に高齢者へお声掛けを行うように指示を行い、高齢者見守り活動に取り組みました。

2. 「ちばSSKプロジェクト」の普及・啓発

協定締結店ステッカーを、県内ライフプラザ等に掲示しました。

「ちばSSKプロジェクト」のチラシを営業活動時に配布、お客様との会話でも積極的にお知らせしました。

3. 認知症対策

当社職員が、積極的に認知症サポーター養成講座の受講を行いました。

認知症サポーター養成数は、以下の通りです。

- ・千葉支社 '21年度0名（新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み中止）
'22年度2名（感染対策を徹底し実施）
- ・船橋支社 '21年度0名（新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み中止）
'22年度157名（感染対策を徹底し実施）

4. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

がん検診の受診をおすすめするチラシや、その他健康情報をお知らせするチラシを営業活動時に配布し、健康診断やがん検診の受診啓発に取り組みました。

5. 高齢者の安心・安全

千葉県より送付いただいた「高齢歩行者の交通事故の特徴と注意点チラシ」、「高齢者ドライバー向けチラシ」を配布し、交通安全に関する注意喚起を実施しました。

また、千葉県より送付いただいた「プラス防犯チラシ」や、千葉県と協働で作成した「電話 de 詐欺防止ビラ」を配布し、特殊詐欺の注意喚起に取組みました。

以上